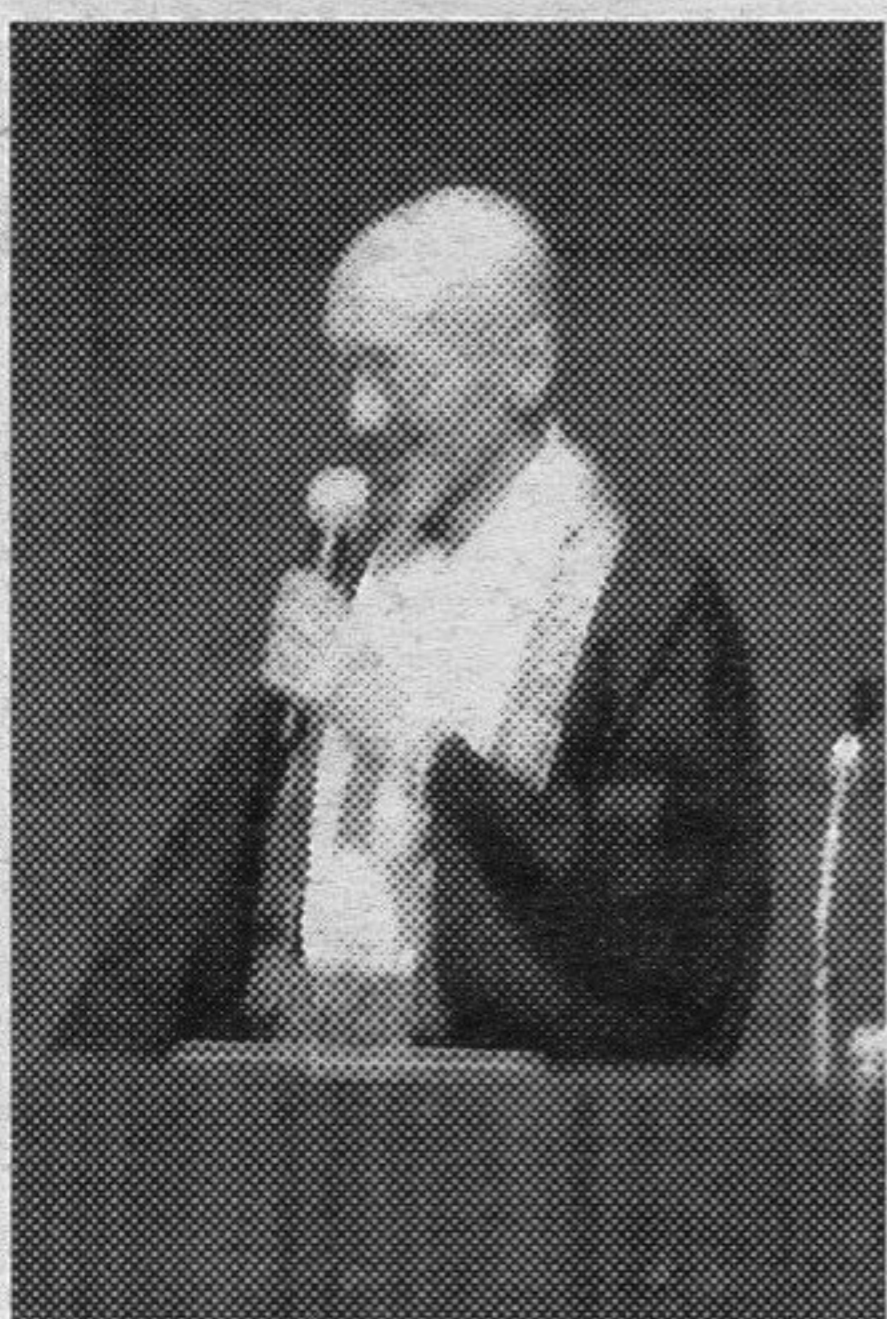


「理想の葬儀」を考える

スウェーデンの森林葬紹介

シンポジウム開催
世界遺産モデルに

(社)森になる(東京
都文京区)主催の「森に
なるシンポジウム201
3」が12月17日に都内で



▲河野秀海代表理事

「森林葬」は、
樹木葬(木の
根元に1人あ
るいは家族だ
けの遺骨を埋

し、自然や大地との関わ
りを大切にしたいという
都市生活者の間での発想
の高まりを示しているの

「2013年8月に東
京都小平市の都営小平霊
園が募集した樹林墓地で
埋葬の定員1600人に
対し、1万5833人の

「森になる理念発表」の
成果を報告した。スクー
グスチルコゴデンの視
察発表会も行われ、スト
スピーチのウルフ・セー

「96ヘクタールにも及
ぶスクーグスチルコゴ
デンではどこに散骨した
かは家族にも教えられな
いため、みな共通の祭壇
に向かい手を合わせま
す。宗教や人種の壁を超
えた人間と自然、命のつ
ながりを取り戻し、違

開催された。同法人は、
スウェーデンの世界文化
遺産スクーグスチルコゴ
ーデン(森の墓地)をモ
デルに、「森林葬」や滞在・
式。

葬する形式)と樹林葬(木
のあるエリアに複数人の
遺骨を埋葬する形式)を
含めた融合型の埋葬方

「2013年8月に東
京都小平市の都営小平霊
園が募集した樹林墓地で
埋葬の定員1600人に
対し、1万5833人の

「森になる理念発表」の
成果を報告した。スクー
グスチルコゴデンの視
察発表会も行われ、スト
スピーチのウルフ・セー

「96ヘクタールにも及
ぶスクーグスチルコゴ
デンではどこに散骨した
かは家族にも教えられな
いため、みな共通の祭壇
に向かい手を合わせま
す。宗教や人種の壁を超
えた人間と自然、命のつ
ながりを取り戻し、違



▲シンポジウムの様子

足、自然破壊など
のさまざまな問題
を抱えています。
森との関わり合い
や独自の『森林葬』
により社会と個人
のつながりを強化
し、問題解決を目
指すとともに、数
年後の公益社団法
人への格上げも考
えています」と河野秀海
代表理事が挨拶。
また、ハワイ大学名誉
教授で同社団法人名誉顧
問の吉川宗男氏と相模女
子大学の尾崎真奈美教
授が登壇。今年スイスで
開催された国際宗教心理
会議2013における